

年 組 (番) 名前

記入日 月 日

生乳5000^トン廃棄恐れ

消費拡大訴え

農林水産省は17日、年末年始に生乳約5000^トンが廃棄される可能性があることを明らかにした。牛は病気を防ぐために毎日乳を搾る必要があり、生産量を調整するのが難しい。

今年は夏や秋に比較的気温が低く過ごしやすかったため、乳量が増えている。一方で、コロナ禍によって、外出での消費や、牛乳やバターなどを原料とする土産用の菓子類の売り上げが落ち込んでいるほか、冬休み期間は消費量の1割を占める学校給食もなくなる。同省は「牛乳をいつもより飲んでもらい、料理などに乳製品を活用してほしい」と消費拡大を呼びかけた。

(2021年12月18日 読売新聞朝刊より)

ホットミルク
ローソン半額に
年末年始、牛乳消費支援
ローソンは21日、「ホットミルク」(200ミリ・リットル)を31日と来年1月1日の2日間、通常の半額となる税込み65円で販売すると発表した。全国約1万4000店舗が対象となる。牛乳の消費を支援するという。

(2021年12月22日 読売新聞朝刊より)

生乳 年末年始は危機回避

生乳生産者らでつくる「Jミルク」は今日11日、年末年始の廃棄は回避できたと発表した。「牛乳を飲もう」といった呼びかけがツイッターやインスタグラムで広まって「珍しく牛乳を買った」などの書き込みが目立ち、家庭内の消費量は12月27日の週は、コロナ禍前の

前々年比で3.7%増、1月3日の週は5.7%増となった。Jミルクは「消費者の力が大きかった」とする。ただ、先行きは不透明だ。春は牛が出産を終え、乳量が1年で最も多くなる。農水省は「年度末も安心できない」としている。

(2022年1月22日 読売新聞朝刊より)

- 1 2021年から2022年にかけての年末年始に、牛乳の大量廃棄が起きる可能性が高まったのは「消費が減り、生産量が増える」と予想されたためです。それぞれの原因について、表のア・イに当てはまることから①～⑤の中から選んで書きましょう。

ア) 消費が減った原因

イ) 生産量が増えた原因

- ① 牛が出産した直後だから
- ② コロナ禍で外食をする人が減ったから
- ③ 学校給食がなくなる時期だから
- ④ 夏から秋にかけて過ごしやすかったから
- ⑤ 牛の病気が広まっているから

- 2 大量廃棄を避けるために、次の①～④は、下のA、Bどちらの役割を果たしましたか。記号を書きましょう。

- ① 農林水産省 ()
- ② ローソン ()
- ③ 消費者 ()
- ④ 新聞記事 ()

A: 現状を、広く世の中に知らせる役割

B: 現状に対し、具体的な行動で協力する役割

- 3 記事を読んだ子どもたちが、牛乳について話しています。記事と関係のないことを話していると思われる子はだれですか。名前を書きましょう。

- A 君 : 牛乳は人間の都合で簡単に量を減らしたり、増やしたりできないんだな。
B さん : このままだと、ゴールデンウィークや夏休みも心配よね。
C 君 : 給食の牛乳は飲み残しが多くて、たくさん捨てられているから大変だなあ。
D さん : 私は、給食がない時にも、家で牛乳を飲むように心がけようと思ったわ。



生乳5000トン廃棄恐れ

消費拡大訴え

農林水産省は17日、年末年始に生乳約5000トンが廃棄される可能性があることを明らかにした。牛は病気を防ぐために毎日乳を搾る必要があり、生産量を調整するのが難しい。

今年は夏や秋に比較的気温が低く過ごしやすかったため、乳量が増えている。一方で、コロナ禍によって、外出での消費や牛乳やバターなどを原料とする土産用の菓子類の売り上げが落ち込んでいるほか、冬休み期間は消費量の1割を占める学校給食もなくなる。同省は「牛乳をいつもより飲んでもらい、料理などに乳製品を活用してほしい」と消費拡大を呼びかけた。

ホットミルク
ローソン半額に
年末年始、牛乳消費支援
ローソンは21日、「ホットミルク」(200ミリ・リットル)を31日と来年1月1日の2日間、通常の半額となる税込65円で販売すると発表した。全国約1万4000店舗が対象となる。牛乳の消費を支援するといふ。

生乳 年末年始は危機回避

生乳生産者らでつくる「Jミルク」は今日11日、年末年始の廃棄は回避できたと発表した。「牛乳を飲もう」といった呼びかけがツイッターやインスタグラムで広まって、珍しく牛乳を買った」などの書き込みが目立ち、家庭内の消費量は12月27日の週は、コロナ禍前の前々年比で3.7%増、1月3日の週は5.7%増となった。Jミルクは「消費者の力が大きかった」とする。ただ、先行きは不透明だ。春は牛が出産を終え、乳量が増える。農水省は「年末も安心できない」としている。

記事には「牛は病気を防ぐために毎日乳を搾る必要がある」と書いてあり、A君の感想は記事と関係ありませんね。Bさんは「消費量の1割を占める学校給食」がなくなることを心配しています。C君が話す「給食の牛乳の飲み残し」は記事には出てきません。

1 2021年から2022年にかけての年末年始に、牛乳の大量廃棄が起きる可能性が高まったのは「消費が減り、生産量が増える」と予想されたためです。それぞれの原因について、表のA・Iに当てはまることばを①～⑤の中から選んで書きましょう。

ア：消費が減った原因	② ③
イ：生産量が増えた原因	④

- ① 牛が出産した直後だから
- ② コロナ禍で外出をする人が減ったから
- ③ 学校給食がなくなる時期だから
- ④ 夏から秋にかけて過ごしやすかったから
- ⑤ 牛の病気が広まっているから

①の「牛の出産」は春に多く、「年度末も安心できない」と3番目の記事に書いてあります。⑤は書いてありません。

2 大量廃棄を避けるために、次の①～④は、下のA、Bどちらの役割を果たしましたか。記号を書きましょう。

- ① 農林水産省 (A B)
- ② ローソン (B B)
- ③ 消費者 (B B)
- ④ 新聞記事 (A)



A: 現状を、広く世の中に知らせる役割
B: 現状に対し、具体的な行動で協力する役割

農林水産省が「廃棄の可能性がある」ことを明らかにし、新聞で多くの人に伝えられたことで、ローソンがホットミルクを値下げ販売し、多くの消費者が牛乳を買いました。年末年始の危機は大勢の協力で回避できたと言えます。

3 記事を読んだ子どもたちが、牛乳について話しています。記事と関係のないことを話していると思われる子はだれですか。名前を書きましょう。

C(君)

- A 君：牛乳は人間の都合で簡単に量を減らしたり、増やしたりできないんだな。
- B さん：このままだと、ゴールデンウィークや夏休みも心配よね。
- C 君：給食の牛乳は飲み残しが多くて、たくさん捨てられているから大変だなあ。
- D さん：私は、給食がない時にも、家で牛乳を飲むように心がけようと思ったわ。

読んでみよう!

◆ミー太郎のおすすめ記事



牛乳の消費を呼びかける大山乳業のメッセージ動画

大山乳業 酪農家らと動画製作

大山乳業は「鳥取県の酪農関係者から消費者の皆様へ」と題した動画を2月1日、動画投稿サイト「ユーチューブ」に公開。酪農家ら呼びかけるとともに、小前孝夫組合長が瓶に入った牛乳をぐくりと飲み干してみせた。

国内の生乳生産者らでつくる「Jミルク」（東京）によると、新型コロナウイルスの影響で全国的に観光地や外食での消費が低迷。一方、2022年度の生乳生産量は771万トと前年度より0.8%増える見通したが、乳牛は毎日搾乳しなければならず、生乳の生産調整は難しいという。Jミルクは大量廃棄のおそれがあった年末年始に、「#1日1L」のハッシュタグをつけてSNSで発信する運動を展開。生産者自らも牛乳を購入して消費を支えた。

「知っていましたか。牛乳のおいしい時期、実は今なんです」「皆様のもう一杯が、酪農生産者の生活を守ります」。

新型コロナウイルスの影響で牛乳の消費が各地で落ち込んでい
る。春休みにかけて消費低下が続くと見込まれ、「白バラ牛乳」
で知られる「大山乳業農業協同組合」（琴浦町）は酪農家などと
動画を製作、消費拡大を訴えている。
(門前光)

牛乳ぐくくと消費訴え

なぜ生乳が大量廃棄されるかもしれないの?

殺菌 → 分離 → 発酵

生乳 → 脱脂乳 → 濃縮・乾燥 → 脱脂粉乳

生乳 → クリーム → かくはん → ヨーグルト

生乳 → チーズ

生乳 → バター

Q 余った生乳を乳製品にできないの?
A 乳製品メーカーの処理能力が追いつかないかも

Q 生産量は減らせないの?
A 乳牛は乳を出さないと病気になるっちゃう

今年は... 夏・秋が涼しく、乳量アップ
しかも... かつての「バター不足」で、生乳を増産

正月は... 学校給食の休止で、1年で一番消費が落ち込む
さらにコロナ禍で... 飲食店が休業するなど業務用需要が低迷



(2022年3月7日 読売新聞鳥取版、2021年12月24日、読売中高生新聞より)

心配された春休みの「廃棄」も、人々の協力で回避できました。

みなさんが、協力できそうなことはありますか。